



新潟市立結小学校  
令和8年3月19日号

## 1年間を振り返って

校長 古泉 徹

令和7年度の教育活動も、いよいよ締めくくりの時期を迎えました。大きな行事は、残すところ卒業式のみとなります。今年度も当校の教育活動にご理解とご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

去る2月27日、5年生が中心となって企画・準備を進めてきた「6年生を送る会」が行われました。「6年生に喜んでもらいたい」という下級生の願いと、「感謝の気持ちを伝えたい」という6年生の思い。その双方が見事に形となり、会場が温かい空気に包まれた、素晴らしいひとときとなりました。

私は今年度、初めて結小学校に赴任いたしました。子どもたちの姿や学校の様子など、目にするものすべてが新鮮でしたが、中でも特に心を惹かれたのが児童会行事の充実ぶりです。「1年生を迎える会」に始まり、「エンジョイランド」「おむすびフェス」、そして今回の「6年生を送る会」。どの活動を見ても、子どもたちが主役となって心から楽しみ、創意工夫を凝らしていました。

こうした「創造性」と「楽しむ力」こそが、結小学校の大きな強みであると確信しています。これからも、様々な活動を通して自分たちの手で楽しさを生み出し、輝き続けてほしいと願っています。

さて、今年度、結小学校では、『立志を育み気概を養う』の教育目標のもと、「明るくたくましい結の子」を目指して、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の3分野において以下の点に重点を置いて取り組んでまいりました。

### 確かな学力

#### 【重点目標】

○基礎・基本を確実に身に付けさせ、「かかわり」を通して、自分の考えを深められるようにします。



### 豊かな心

#### 【重点目標】

○「支え合う人間関係づくり」や「特別活動の充実」を通して、児童一人一人の自己有用感を高めます。



### 健やかな体

#### 【重点目標】

○「体を動かす機会の確保」と「健康教育の充実」を通して、体力と健康についての意識の向上を目指します。



学校だより2月号でお伝えしました後期評価の結果を振り返りますと、特に「友達とかかわることで勉強が分かった」「友達を励ましている」「運動が好き」といった項目で数値の向上が見られました。かかわり合い、支え合う活動が、子どもたちの自己肯定感や自己有用感の向上に確実に繋がっているとと言えます。今後も、更なる向上を目指し、取り組んでまいります。

保護者の皆さま、地域の皆さまには、学校行事や学習参観へのご参加をはじめ、ボランティア活動や地域学習の講師など、多大なるお力添えをいただき心より感謝申し上げます。これからの未来をたくましく生き抜く結の子どもたちを育てるため、職員一同精一杯努めてまいります。今後とも変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

# 6年生を送る会を実施しました！

2月27日(金)に、「6年生を送る会」が行われました。これまで学校を支えてくれた6年生の卒業を祝い、感謝の気持ちを伝えるとともに、5年生が次年度のリーダーとしての自覚を高めることをねらいとして実施しました。会の企画・運営は5年生が中心となり、他学年への協力のお願いや準備などに前向きに取り組みました。会は大成功で、特に全校ダンスでは、体育館が揺れるほどの盛り上がりとなり、6年生も楽しそうな様子で参加していました。会を通して、6年生は卒業生としての自覚を、5年生は最高学年へ向けた意識を高めることができました。



2択の6年生クイズ！好きな給食はどっちかな～？



全校ダンスでは「できっこないをやらなくちゃ」を踊りました。サビの振り付けでは体育館が大いに盛り上がり、会場が一体となりました。



4年生までの児童は、6年生を送る会までに取り組んだことを、元気に紹介してくれました！



6年生は合唱「地球星歌」を披露しました。きれいな歌声をそろえ、心のこもった歌声を体育館に響かせました。



おむすび班のみんなが書いたメッセージカードを、お世話になった6年生へ渡しました。感謝の気持ちを伝えることができました。

6年生は在校生に向けて、結小学校をこれからも盛り上げてほしいという思いを、応援団を中心に力強く伝えてくれました。さすが6年生だと感じる場面でした。

